

「農業労働災害共済」 の復活を

～精査の上、新たな制度を検討～



わだ かつ はる
和田 哲治



農作業にも安心な補償を

質 旧大野町で農業者より高い支持と評価を得ていたこの制度は、現在でも廃止されたままである。
その復活と市全域を対象とする制度化を求める。

答 市長
合併時の調整方針に明確に記載されていないにもかかわらず、現在まで実施していないが、今後、この内容を精査して、平成22年度当初には「豊後大野市農業労災保険加入組合」として運営してまいりたいと考えております。

「地籍調査」の 事業拡大を

～今後40年間で
完了する計画～

質 平成22年度よりスタートする第6次十年計画の策定にあたり、未実施地域への促進と事業のさらなる拡大を求める。

答 総務部長
現在、犬飼町と緒方町が完了しているが、残る5町については、今後40年間で調査完了をにらんだ計画となっています。
計画達成のため体制の整備に努めます。



第3回豊後大野っ子市議会

「子ども市議会」の 定例開催を 複数回の開催は困難

質 近年、若者の政治不信や低投票率が話題になる中、身近な地方政治である行政や議会に興味や目を向け、その大切さを知ってもらうため、議会定例会に併せた「子ども市議会」の定例開催ができないか見解を伺う。

答 教育長
本年度で第3回目となる「豊後大野っ子市議会」が、8月に開催されました。
ご質問の開催目的に近づいていると考えられるが、今後は、中学生についても意見交換会などに取り組みたい。今後、年1回の開催でその充実を図りたい。